

# 広報 しばた

## 小さなレーサーが 太陽の村を駆け抜ける

太陽の村に新たな遊びのスポット、  
キッズバイクパークがオープンしました。  
キックバイクとマウンテンバイクの2コースが整備され、  
バイクや道具が無くてレンタルで遊ぶことができます。  
晴れた日には太平洋を見渡すことができる  
気持ちいいコースでキッズバイクを楽しもう。

【写真：8月2日(日)太陽の村】

# 新型コロナウイルス感染症対応

# 地方創生臨時交付金

## (第2次補正予算分)

問まちづくり政策課

TEL 54-2111

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」が、新型コロナウイルス感染症への地方におけるさまざまな対応・取り組みを全力で支援するため、地域の実情に応じて、家賃支援を含む事業継続や雇用維持などへの対応を後押しするとともに、「新しい生活様式」などへの対応を図る観点から、国の第2次補正予算で拡充されました。

町では、第1次補正予算分と併せて、この第2次補正予算分の交付金も有効活用しながら、少しでも早く、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援していくために積極的に取り組んでいこうと、さまざまな事業を検討しています。今回、第2次補正予算分で実施を検討している15の事業の中から一部を紹介します。

表1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(第2次補正予算分)事業費(千円)

総事業費	財源内訳	
	399,602	交付金
県補助金		38,000
町負担		33,190

※事業費は、現時点での予定になりますので、変更になる場合があります。

家賃支援を含む  
事業継続や  
雇用維持等への  
対応事業

事業費 131,098千円

家賃支援給付金  
上乗せ支援事業

自粛や休業要請により、売り上げが大きく落ち込んだ事業者に対し、国の家賃支援給付金を補完する形で家賃の一部を上乗せ補助し、資金繰りの改善と事業の継続を支援します。

持続化給付金  
上乗せ支援事業

自粛や休業要請により、売り上げが大きく減少するなど業況が悪化し、国の持続化給付金を受けた事業者のうち、限度額を超えた事業者に対し上乗せ補助を行います。

社会生活サポート  
事業者経営・雇用  
継続応援事業

医療や介護・障がい、保育サービスの持続的な提供体制の確保や、自粛要請に伴い経営が悪化した公共交通機関の安定的な運行の確保を支援します。

い、事業の継続を支援します。



さまざまな感染防止対策を行いながらサービスを提供している保育施設

**新型コロナウイルス感染症予防  
在宅介護・障がいサービス  
利用者応援事業**

新型コロナウイルス感染症による、重症化のリスクが高い介護高齢者や障がい者が安心してサービスを受けられるよう、継続して感染防止対策を行うため支援金を支給します。

**『新しい生活様式』  
を踏まえた  
地域経済の  
活性化等への  
対応事業**

事業費 268,504千円

**「リモート関係人口」  
交流・移住拡大事業**

柴田町から遠く離れていても、継続的にさまざまな形で応援してくれる「関係人口」との関わりを深化さ

せるため、ふる里の魅力や移住定住情報を発信し、都市と地域との関係性の強化や交流・移住の拡大を図ります。

**地域循環型経済  
元気アップ事業**

地域経済を立て直すため、1世帯当たり1万円の利用券を配布し、町内での消費



10月上旬から各世帯に配布予定の  
元気アップ利用券

喚起を促し、活性化を図ります。

**飲食店及び直売所等  
利用拡大応援事業**

売上げが落ち込んだ飲食店や直売所などを支援するため、スタンプラリーを実施し、販路の開拓や拡大を支援します。

**歩くことから  
はじめよう、  
新たな生活。**

「歩くまち柴田」

**「SHIBATALK」  
情報発信事業**

街歩き、里山歩きなど、地域の魅力を再発見しながら楽しく歩くことを新たな生活スタイルの中に浸透させ、多くの人たちが健康増進につなげられる情報を発信します。

進につなげられる情報を発信します。

表3 「新しい生活様式」を踏まえた  
地域経済の活性化等への対応事業 (千円)

事業名	事業費
公共的施設等の安全安心確保対策事業	30,266
快適な創造空間を活用したマイクロツーリズム推進事業	13,400
G I G Aスクール構想推進教職員スキルアップ事業	20,000
「リモート関係人口」交流・移住拡大事業	6,038
地域循環型経済元気アップ事業	180,000
飲食店及び直売所等利用拡大応援事業	16,000
歩くことからはじめよう、新たな生活。 「歩くまち柴田-SHIBATALK-」 情報発信事業	2,800
計	268,504

表2 家賃支援を含む事業継続や  
雇用維持等への対応事業 (千円)

事業名	事業費
家賃支援給付金上乘せ支援事業	30,661
持続化給付金上乘せ支援事業	35,089
社会生活サポート事業者経営・雇用継続応援事業	18,485
緊急小口資金利用者家計支援事業	7,560
就学援助費受給認定者家計支援事業	1,334
新型コロナウイルス感染症予防在宅介護・障がいサービス利用者応援事業	23,788
学校における新型コロナウイルス感染症対策事業	8,850
地域公共交通運行体制維持確保支援事業	5,331
計	131,098

# 第2期柴田町 まち・ひと・しごと 創生総合戦略

問まちづくり政策課 Tel54-2111

町では、平成27年度から令和元年度までの5年間を計画期間とする「柴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少問題の克服と持続可能なまちづくりを実現するため、地方創生の取り組みを推進してきました。

今回、国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

を踏まえ、引き続き人口減少対策やつながり人口、地域活性化に関する施策に取り組み、さらなる地方創生の充実を図るため、第1期と同じ5年間（令和2年度から令和6年度）を計画期間とする第2期柴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略を令和2年3月に策定しました。

## 目標人口

第1期総合戦略策定時に、町独自の将来人口展望を推計しました。

今回、第2期総合戦略の策定において算出した独自推計は、第1期と大きな乖離は無いため、2060年の人口は、引き続き30,000人を目指します。

- 2040年（令和22年）  
34,000人
- 2060年（令和42年）  
30,000人

## 基本的な考え方

第2期総合戦略における基本目標については、第1期総合戦略の意識や取り組みを継続しながら、施策の充実を図り、さらに新たな視点も取り入れました。

### 新たな視点

地方とのつながりを築く

多様な人材の活躍を推進

ひとが集う

新しい時代の流れを力に

戦略

1

#### ローカルビジネス・雇用創出

基本目標 地域を元気にする仕事をおこし、稼ぐ力、働く場を創出する

戦略

2

#### 都市と農村との共生・交流・移住推進

基本目標 花のまち柴田への新たな交流・移住の流れをつくる

戦略

3

#### 子どもの未来を拓くまちづくり

基本目標 安心して子育てができ、未来を拓く子どもを育む社会をつくる

戦略

4

#### 安全安心な暮らしを支える基盤づくり

基本目標 つながりのある、安全で安心して暮らせる地域をつくる

## 第2期柴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略

### 戦略

#### 1

## ローカルビジネス・雇用創出

基本目標 地域を元気にする仕事をおこし、稼ぐ力、働く場を創出する

里山の魅力といった地域資源の活用のほか、ガーデンツーリズムなど新たな切り口から、地域を元気にする生業づくりや仕事をおこし、6次産業化など、産業間の連携によって、雇用機会の確保、若者や女性が仕事と子育てを両立しながら活躍できる、魅力ある就労の創出を目指します。

- 施策1 里山ビジネスの創出
- 施策2 若者及び女性の雇用機会の拡大
- 施策3 地場産業の活性化
- 施策4 ローカルベンチャーの育成



高校生を対象に開催された企業情報ガイダンス

### 戦略

#### 2

## 都市と農村との共生・交流・移住推進

基本目標 花のまち柴田への新たな交流・移住の流れをつくる

「花のまち柴田」の魅力をさらに国内外にアピールするシティプロモーション活動を展開し、町の潜在的な魅力に磨きをかけて、地域への新しい人の流れをつくり、まち中や農村でのにぎわいづくりにつなげます。

- 施策1 シティプロモーションの展開
- 施策2 移住・定住体制の整備
- 施策3 にぎわい交流拠点の整備
- 施策4 魅力ある観光地等の整備
- 施策5 多様な交流の促進



海外でのプロモーション活動により、年々増加する外国人観光客

## 戦略 3

# 子どもの未来を拓くまちづくり

基本目標 安心して子育てができ、未来を拓く子どもを育む社会をつくる

安心して子どもを産み育てることができるよう、切れ目のない子育て支援環境を整え、子育て世代や子どもたちを優しく支える地域社会を目指します。

- 施策1 切れ目のない子育て支援の推進
- 施策2 教育環境の充実
- 施策3 子どもの貧困対策



今年4月に開園した町内初の民間の保育園



## 戦略 4

# 安全安心な暮らしを支える基盤づくり

基本目標 つながりのある、安全で安心して暮らせる地域をつくる

安全で快適に暮らすことのできる都市基盤や生活基盤の整備に努めるとともに、歩いて楽しいまちづくりに取り組みます。また、高齢期においても誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域包括ケアシステムの構築に努めます。さらに、多発する地震、水害、土砂災害に対応するために、地域の安全・安心力の向上を図るための取り組みを行います。

- 施策1 エリアマネジメントの推進
- 施策2 緑豊かで快適なまちの創造
- 施策3 健康タウンの推進
- 施策4 地域連携・人財の育成
- 施策5 高齢者の活躍の場づくり
- 施策6 つながり人口の増加
- 施策7 安全で安心な暮らしの確保



仙台大学との連携による健康タウンしばたプロジェクト



## 地方創生の 推進に向けて

町民の皆さまには、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、さまざまなご協力をいただいております。

また、新型コロナウイルス感染症対応に携わる医療従事者の皆さま、物流の維持や生活必需品の販売など、日常生活を支えていただいている全ての皆さまに感謝いたします。

地域経済も前例のない極めて厳しい状況にある中で、ご不便やご苦勞をお掛けしていますが、地方創生の事業を実施していく中で、地域経済や住民生活の支援を行ってまいります。

地方創生の取り組みは、幅広い行政分野にわたるものですので、さまざまな施策を効果的に活用していきながら、戦略的に進めてまいります。

# SDGs 誰一人取り残さない社会の実現を目指して

## SDGs（エス・ディー・ジーズ）ってなに？

最近、テレビや新聞などでSDGsという言葉やマークをよく目にするようになりました。SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」の略称です。

2030年までに達成する目標として掲げた、17のゴール（目標）と169のターゲットから構成されており、世界各国が“誰一人として取り残さない”社会の実現を目指します。

## 町の取り組み

今回策定した、第2期柴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、SDGsの考え方を取り入れて、戦略ごとにSDGsの目標をひもづけしました。町で実施する各種事業は、SDGsの目標に関わるものが多く、町の各種計画の実現がSDGsの目標達成につながっていくことから、今後、町はSDGsの考え方を取り入れて各種事業を進めていく予定です。

## 身近な取り組み

SDGsは、国だけではなく、自治体、民間企業、各団体、そして私たち町民一人一人の参加が期待されています。

私たちの身近なところにも、SDGsにつながる活動があります。

例えばSDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」では、ごみの削減やリサイクルを目指しています。ごみの分別やエコバッグの利用、さらにポイ捨てをせずにプラスチックごみをきちんと処理することによって、自然界のバランスを崩している海洋プラスチック汚染防止にもつながります。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 令和2年 国勢調査を実施します

10月1日を基準日として、全国一斉に行います



## 国勢調査とは？

国勢調査は、日本の人口、世帯、就業者からみた産業構造などの状況を地域別に明らかにするために行われるもので、国の最も重要な統計調査です。

日本に住んでいる全ての方を対象とする唯一の全数調査で、国籍に関係なく、外国人も対象になります。大正9年の第1回調査以来、5年ごとに実施されており、今回の調査は21回目に当たり、実施から100年の節目を迎えます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

国勢調査の結果は、国民共有の統計データを形成し、社会の持続的な発展を支えます。国際社会全体で取り組む「持続可能な開発目標(SDGs)」の基盤情報としても活用されています。



大正9年、槻木町(当時)の第1回国勢調査 (写真提供：槻木上町 太齋 茂さん)

## 国勢調査でみる柴田町の昔と今

	大正9年 (第1回調査)		平成27年 (前回調査)
	旧船岡村	旧槻木町	
総人口	3,337人	7,759人	39,525人
男	1,648人	3,892人	19,942人
女	1,689人	3,867人	19,583人
世帯数	561世帯	1,202世帯	15,121世帯

## 国勢調査員が伺います

国勢調査員は、市区町村の推薦に基づいて総務大臣が任命する非常勤の国家公務員で、全国で約70万人の調査員が任命されます。

調査員は、9月中旬から皆さまの自宅を訪問し、インターネット回答のための調査書類および紙の調査票をお配りします。

インターネットまたは紙の調査票によるいずれかの方法で、10月7日(水)までに回答をお願いします。

期限までに回答が無い場合は、調査員が回答のお願いに伺います。

## 新型コロナウイルス感染症対策は？

今回の調査では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、調査票の配布や受け取りを、できるだけ皆さまと調査員が対面しない方法で行います。調査の説明はインターホン越



しに行い、調査書類は郵便受けやドアポストに入れるなどしてお配りします。対面での説明が必要な場合は、一定の距離を保ちつつ、簡潔に行わせていただきます。回答は、できるだけインターネットでお願いします(郵送での回答も可能です)。この場合、調査員が調査票回収のために訪問することはありません。調査員は、訪問前の検温の実施、マスク着用の徹底など、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期してまいりますので、皆さまのご理解、ご協力をお願いします。





### インターネット 回答期間

9/14(月) → 10/7(水)

### 調査票(紙)での 回答期間

10/1(木) → 10/7(水)



できるだけ、インターネットでの回答にご協力をお願いします  
(郵送での回答も可能です)

#### どんなことに役立つの？

調査結果は、衆議院選挙の小選挙区の区割りや議員定数の基準、地方交付税の算出の基礎となるほか、コンビニエンスストアの出店計画に利用されるなど、さまざまな分野で私たちの暮らしに役立てられています。

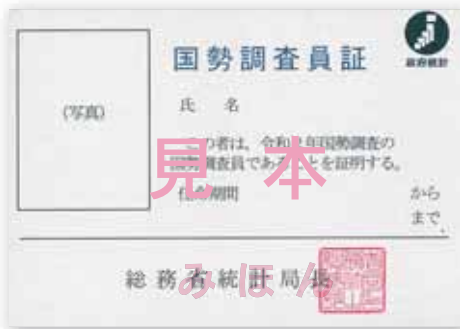
#### 個人情報を守られるの？

統計法では、皆さまが安心して調査票に記入いただけるよう、調査員をはじめとする調査関係者に対して、調査票の記入内容を厳重に保護することを定めています。また、回答いただいた内容は、統計の作成に関連する目的以外に使用することはありません。

パソコンやスマートフォンなどによるインターネット回答の通信は、全て暗号化されており、不正なアクセスなどの監視を常に行っています。

#### 国勢調査を装った「かたり調査」にご注意ください

調査員を装って訪問や電話などで個人情報を引き出すようしたり、調査票をだまし取ろうとする「かたり調査」にご注意ください。調査員は、身分を証明する国勢調査員証、腕章を身に付けていますので、不審に思われた場合は、必ずご確認をお願いします。



調査員が身に着けている国勢調査員証



調査員が持ち歩く手提げ袋



調査員が着用している腕章

被害に遭わないよう、次の点にご注意ください。  
○調査は、電話やメールで行われることはありません。  
○調査には、預貯金や収入などに関する調査事項はありません。  
○調査で金品を要求することはありません。また、銀行口座の暗証番号やクレジットカード番号をお聞きすることもありません。

### 国勢調査についてのお問い合わせ

○国勢調査コールセンター TEL 0570-07-2020 (ナビダイヤル) IP電話 03-6636-9607

設置期間/10月31日まで 受付時間/8:00~21:00(土・日・祝日もご利用できます)

※ナビダイヤルの通話料金は、一般の固定電話の場合、全国一律に市内通話料金でご利用いただけます。  
※携帯電話、IP電話用電話番号の場合は、それぞれ所定の通話料金となります。

○柴田町まちづくり政策課 TEL 0224-54-2111

詳細については、「国勢調査2020総合サイト」をご覧ください。 <https://www.kokusei2020.go.jp/>



秋のお彼岸の頃、季節の風物詩として必ずテレビに映し出されるのが、大崎市羽黒山公園の赤い彼岸花です。地域の人たちが植え、そして地道に増やし続けてきた結果、今では見事な彼岸花の名勝地となっています。

そこで、船岡城址公園を赤い彼岸花で染め上げたら何かと話題となるのではないかと思ひ、すでに、船岡土手内地区の皆さんと一緒に、白石川の土手に彼岸花を植えていた庄子さんに声をかけたところでした。

庄子さんたちには、快く賛同していただき、2013年から毎年ボランティアで彼岸花を植えていただいています。現在、公園には約30万本の彼岸花が見事に咲くようになりました。特に、彼岸花で富士山をかたどった「赤富士」は見応えがあり、大変好評です。

当初、彼岸花祭りの開催を提案した折には、お年寄りの皆さんから、「公園にお墓の花を植えてどうする」とお叱りを受けました。その発言の裏には、彼岸花にまつわる迷信がありました。

昔、土葬が行われていた頃、ご遺体をネズミやモグラから守るために、お墓の周りには毒性の強い彼岸花が植えられました。そうし

## 彼岸花にまつわるエピソード

た風習から、信心深いお年寄りの皆さんには、彼岸花は「死に関わる不吉な花」というイメージがついて回っているのだらうと思います。反面、彼岸花は別名「曼珠沙華」とも呼ばれ、天界に咲く妖艶な花として女性に大変人気があります。花言葉は「情熱」です。「愛されるより愛していたい」、「思うのはあなた一人」と、一途な女心を歌った山口百恵さんの「曼珠沙華」は、彼女にとつて、伝説の名唱となっています。

昨年、八戸市から船岡城址公園を訪れていた若い女性から、「初めて本物の彼岸花を見て感激しました」と、お褒めの言葉をいただきました。実は、自生する彼岸花の北限は、秋田県や岩手県までなので、青森県では咲かないそうです。そのためか、東日本で有名な彼岸花の観光地は、埼玉県日高市の中着田や幸手市の権現堂となっており、満開時には、真っ赤な絶景を見に、多くの観光客が訪れています。

今後、町としては、さらに彼岸花を増やし、真っ赤な絨毯を広げようとして咲き誇る幻想的な景観を作り出せば、全国からお客さまを呼び込めるのではないかと思っています。燃え立つように染まった船岡城址公園の美しい彼岸花を見て、彼岸花にまつわる「不吉な花」のイメージを払拭して、心を癒していただけではないと思います。

## しばた歴史探訪

### 第8回 船迫の近世と近代

江戸時代、船迫は、奥州街道の江戸日本橋から数えて63番目、大河原と槻木を結ぶ宿場でした。「増補行程記」(盛岡藩士清水秋全が江戸時代中期に描いた江戸から盛岡までの道中図)には、人々が行き交い、物資が運ばれる様子や宿場の入り口の8〜9丁(約900m)手前の街道沿いにある二本杉の一里塚、今も変わらない宿場を通る「七曲り」の道筋が描かれています。仙台藩の藩札にも使用された「舟迫紙」を産することも記されています。

さて、この船迫村は、1889年(明治22年)に、他の9カ村と合併し槻木村となります。近世以来、船迫が直面していた課題に頻繁に起こる白石川の氾濫がありました。白石川は、今よりずっと山に近く、しかも蛇行して流れていたため、川筋を直線的に直し、洪水を防止することを目的に、1917年(大正6年)から6年をかけて河川改修が行われ、現在の形となりました。

また、葦神山から槻木四日市場に至る街道筋は、松並木となっていました。第2次世界大戦末期に終戦までの3年をかけて、伐採されました。千本以上が伐採され、直径が2m近い大木もあつたそうです。松材は木造船の用材に、掘り起こした根株は松根油(航空ガソリンの代用)採取の原料とされました。戦時中、精製工場が町内に急造され、労働力は各地区に割り当てられ、困難な作業に当たりました。その松並木の残された1本が、平成3年まで東禅寺前にありましたが、枯死したため切られました。

私たちが日常見ている景観は、長い歴史のなかでつくられてきたものなのだと思います。

問しばたの郷土館 ☎55-0707



名残の松 (平成3年頃)



# 健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ71

☎健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第71回のテーマは、「ゲートキーパー」についてです。

皆さんは、「ゲートキーパー」をご存じですか? 「ゲートキーパー」は、「命の門番」と呼ばれ、悩んでいる人に気づき、声をかけ、相手の話を聞いて、必要な支援につなげ見守る人のことです。あなたの身の周りにも、「死」を意識するほど心理的に追い込まれている方がいるかもしれません。そんな時、まず声をかけることで、救える命があります。

自殺対策基本法では、毎年9月10日から16日を「自殺予防週間」と定めています。それぞれの立場でできることから進んで行動を起こし、かけがえのない大切な命をみんなで守りましょう。

## ゲートキーパーは誰でもなれる

ゲートキーパーには高度な専門性は必要ありません。やろうとする気持ちさえあれば、誰にでもできることです。悩んでいる人に勇気をもって声をかけてみませんか。

### 1 気づき

あなたの大切な人に次のような症状はないですか? 症状に気づいたら声をかけましょう。

- 元気がない・疲れているようだ
- よく眠れていないようだ
- 食欲がないようだ
- 飲酒量が増えている
- 身だしなみが悪くなった

### 2 傾聴(けいちょう)

傾聴とは、「本人の気持ちを尊重し、耳を傾けること」です。

～相手の話の「良い聞き方」のポイント～

- ・心配していることを伝える。「心配したよ…」
- ・相手の気持ちに寄り添い、ねぎらいの言葉をかける。「つらかったね…、よく我慢したね」
- ・悩みを真剣に受け止める。「そうだったんだね…」

### 3 つなぎ

傾聴の結果、相手は何と言っていましたか? 専門家に相談することで、解決策が見つかるかもしれません。早めに相談窓口を紹介しましょう。

〈相談窓口〉

健康推進課 保健班 TEL55-2160 受付時間 平日 8:30～17:00

宮城県精神保健福祉センター

こころの相談電話 TEL0229-23-0302 受付時間 平日9:00～12:00、13:00～17:00

夜間こころの相談窓口 TEL0229-23-3703 受付時間 17:00～翌2:00(通年)

### 4 見守り

専門家とつながった後も、必要があれば相談にのるなど、温かく寄り添いながらじっくりと見守りましょう。

**自殺を防ぐためにあなたにもできることがあります**

広 告

広 告

# まちかど NEWS



3年生は思い出に残る引退試合となりました。



各会場では熱戦が繰り広げられました。

## 中学部活動最後の試合

NEWS

7月23日(木)、24日(金)、柴田郡中体連交流会が開催されました。この交流会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった郡中総体の代替として開催されたもので、部活動の集大成として全力でプレーする姿に、大きな声援が送られていました。野球部の中畑琉飛さん(船岡中3年)は、「中総体が無くなって悔しい思いをしました。この交流会に3年間の思いをぶつけ、勝利することができてよかったです」と話してくれました。

## 感染症を想定した避難所開設訓練

NEWS

7月27日(月)、船岡生涯学習センターで、新型コロナウイルス感染症対応避難所開設訓練が行われました。地域の自主防災組織の方々に参加し、事前受付での検温や避難テナントの設営、発熱がある方の専用スペースへの誘導など、実際の避難所運営に沿った行動を確認していました。訓練に参加した水戸幸子さん(下名生)は、「感染症対策をしながらの避難に難しさを感じましたが、訓練を経験できて良かったです」と話していました。



事前受付では健康状態を確認します。

広 告

広 告

## 正しい手洗いで感染症対策

8月11日(火)、12日(水)、役場保健センターで手洗体験会が開催されました。

チェッカーを使い、普段の手洗いによる洗い残しの確認や、正しい手順による正しいの方法を学びました。

お子さんと参加された菊地理恵子さん(西船迫)は、「しっかり洗ったつもりでも、洗い残しがあることに驚きました。子どもたちには、正しい手洗いをさせたいと思います」と話してくれました。



特に指先や手首に洗い残しが見受けられました。

## 夏野菜いっぱいとれたよ



大きなオクラに収穫するのも一苦労でした。

8月17日(月)、西船迫保育所の所庭で栽培している、夏野菜の収穫が行われました。

大きく実ったパプリカやオクラを子どもたちが一つ一つ丁寧に収穫していました。収穫された野菜は、早速調理され、オクラを食べた高橋佳花ちゃん(納豆みたいにねばねば)は、「納豆みたくねばねばしていておいしかった」と話してくれました。

所庭では他にも、すいかやメロンを育てており、子どもたちは収穫できる日を心待ちにしています。



大雨の際には、落下防止柵のあるマンホールを開けて排水します。

## 第29C区地域防災出前講座

8月17日(月)、第29C行政区で、防災に関する出前講座が行われました。

町と県の担当者から、昨年の台風19号の概要や、地区の雨水対策、土砂災害警戒区域の指定理由、自主防災組織の役割などについて説明がありました。

出前講座を企画した防災防犯部の管野繁(しげの)さんは、「この地区には土砂災害などの危険があるということを意識してもらおうきっかけになればと思います」と話されました。

広 告

広 告



こうほう 文芸

短歌

今はただコロナ収束祈るのみ  
 穏やかな日を皆むかへなむ  
 船岡 可沼 妙子

赤子抱き若かりし頃のうで力なし  
 じっと見つめるひとみまぶしい  
 西船迫 下浦 智子

三密の夜のキャバクラ演歌の世界  
 われは芋ほり農家の世界  
 四日市場 鳥井崎七十老

ただ二日雨で休みし物干し竿に  
 蜘蛛は美しき模様を描けり  
 船岡 加藤 美幸

老いゆくも悪くは無いと夫語る  
 デイに行く日友達数多  
 船岡 伊藤タイ子

ピアノではとても仲良し孫姉弟  
 一緒に弾いてる「ネコふんじやつた」  
 本船迫 森田 眞六

無心にて運転しろと言われても  
 雑念浮かび緊張す  
 西船迫 安ヶ平良三

あげはちよう今を精いっぱい生き生きと  
 花から花へ軽やかに舞う  
 船岡 沢田 順子

従姉逝きてコロナのせいで逢えもせず  
 沈む夕日に手を合す我  
 船岡 大庭 とみ

蓮の葉に滴集めし水玉に  
 朝日射し入り爽やか美景  
 槻木 平間 三郎

川柳

口ふさぐ刺繍のマスクものを言う  
 四日市場 鳥井崎七十老

第二波のコロナの感染恐怖なり  
 西船迫 H・G

こころ旅山あり海あり手紙あり  
 船岡 阿部美代子

梅雨になり傘を持って万全だ  
 西船迫 安ヶ平良三

この半年はじめのニュースはコロナから  
 鬼灯仏壇飾りに適してる  
 船岡 小林 夢子

梅雨明けた4日後暦に立秋と  
 槻木 村上 紫寿

縁台で花火見上げて夕涼み  
 槻木 加藤 マサ

俳句

道の端どこか懐かし矢車草  
 船岡 可沼 妙子

虫の音や天へ天へと丸太組む  
 石母田星人

隠沼の鯉の跳ぬるや秋うらら  
 鎌形 清司

朝日差し鬱金の花の王妃めく  
 齋藤 善則

独酌の苦さしみみる吾亦紅  
 鈴木 三山

吾亦紅シャドーダンスに大西日  
 鈴木 清子

噴煙のけふも穏やかホップ摘む  
 鈴木 幸子

青春遠く桃の薄皮指てむく  
 相馬カツオ

露草の青を育む水の星  
 峠 三枝子

山道の楽しみひとつ吾亦紅  
 吉田 啓子

ミニトマト顔をかじられ土へ種  
 船岡 安藤 節子

夏休み声なき子らの哀れかな  
 西船迫 安ヶ平奈津枝

油蟬居間の網戸に縋り鳴く  
 槻木 平間 三郎

おけの底音ころがして茄子つける  
 西船迫 佐藤 厚子

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで9月14日(月)まで応募ください。 図 まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

広 告

広 告

## 地域貢献し隊

本校には、4つの行政区に子ども見守り隊があり、毎日の登下校の安全を支えていただいております。また、平成18年度から2年間、県教育委員会から「みやぎらしい協働推進事業コラボスクール」の指定を受け、地域社会と学校が連携して教育活動を展開する、協働教育の先駆けとして実践を重ねてきました。多くの学校支援ボランティアの方の協力をいただき、子どもたちの学習もより一層充実したものになっています。これらのご厚意に応えるべく、子どもたちも次のような活動を行い感謝の気持ちを表そうと努力しています。

### 1 校外クリーン作戦

自分たちの住んでいる町をきれいにしようと、年に1回、地域のごみ拾い活動を行っています。児童会で原案を立て、代表委員会で話し合います。そうして決定した計画に従い、学年ごとに、学校周辺や近くの公園、榎木駅付近などに出かけてごみを拾います。集めたごみは、児童会の役員が中心となって分別・処分を行います。自分たちが住む榎木へ目を向け、地域への愛情や奉仕の心を養う良い機会になっています。



日頃遊んでいる公園でのごみ拾い

### 2 感謝の会

毎年3月に、これまでボランティアや見守り隊などでお世話になった方々を児童が学校に招待し、ささやかながら、手作りの品々と共に感謝の気持ちを伝える会を開催しています。感謝の会に引き続いて行われる「6年生を送る会」にもそのままご列席いただき、子どもたちのさまざまなパフォーマンスも楽しんでもらっております。



ボランティアの皆さまへ気持ちを伝える「感謝の会」

### 3 吹奏楽部などの活動

榎木小には、仙南地区の小学校では唯一となる吹奏楽部があります。過去には、TBC子ども音楽コンクールの東北代表になったり、全日本吹奏楽コンクール東北大会に出場したりと、華々しい実績があります。子どもたちが日々練習に精進していることもありますが、子どもたちの活動を支えていただいている多くの方々がいることも忘れることはできません。地域のイベントなどにご招待をいただいた際や「さくらマラソン」におけるランナーへの応援演奏など、日頃の感謝の気持ちを演奏に託して届けています。



さくらマラソンのコース沿いで応援演奏を披露する吹奏楽部

本年度は新型コロナウイルス感染症により、例年通りの活動を行うことが難しい状況です。そんな中でも、地域の皆さまのご恩に報ずることができるよう、児童と共に、この状況を乗り切りたいと考えています。

〔榎木小学校長 嶋中 直幸〕

告 告

告 告

## 経験を積み、 会社に貢献できる社員に

東北三和鋼器株式会社

薄木 実那美さん (22歳・写真右)

佐藤 恵さん (23歳・写真左)



今回は、送電鉄塔や通信鉄塔、標識柱などの設計、製造を手掛ける東北三和鋼器株式会社の佐藤恵さんと薄木実那美さんをご紹介します。

佐藤さんは、インフラ整備に重要な鉄塔などの製造によって社会に貢献できることに魅力を感じ、また、薄木さんは高校で学んだプログラミングの知識を活かし、電算担当の事務職として入社し、二年目となります。

担当する業務について伺うと、佐藤

さんは、「会社の総務全般を行っていただきます。その中で主に事務所や工場内で使用する備品の購入や管理などを担当しています。窓口や電話でお客さまと接する機会が多いため、挨拶など第一印象を大切にすることを心掛けています」、薄木さんは、「工場内で使われている既存のプログラムの修正や、今まで手作業で行われていた業務を自動化するプログラムの開発を行っています」と話してくれました。

仕事で苦労されていることについて、佐藤さんは、「電話の応対で、お客さまとコミュニケーションが上手くいかなかった時など難しさを感じます」、薄木

さんは、「新しいプログラムの開発は、自分の知らないものを構築していくため、『作る』作業と自身の『学習』が必要になります。今はその両方をこなすことで精一杯です。その分、完成して喜んでもらえるとやりがいを感じます」と話してくれました。

今後の目標を伺うと、佐藤さんは、「社員の健康管理についての業務に携わりたいと思います。健康に関する検定を受けるために勉強しています。また、総務として親しみやすく、頼ってもらえる存在になりたいです」、薄木さんは、「基本情報技術者の資格取得を目指しています。プログラム開発によって、要望や問題を解決することができ力を身に付けたいと思います」と答えてくれました。

お話を伺っていると、お二人とも会社に貢献したいとの強い思いが伝わってきました。これからも頑張ってください。



総務業務を行う佐藤さん。



パソコンでプログラミングする薄木さん。



東北三和鋼器株式会社  
柴田町大字船岡字山田1-7  
TEL55-2621

昭和45年設立。送電鉄塔や通信鉄塔などを手掛ける。  
従業員154人

人口と世帯数  
(令和2年8月1日現在)



37,574人  
(前月比28人減)



18,745人  
(前月比39人減)



18,829人  
(前月比11人増)



15,962世帯  
(前月比47世帯減)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。